

令和8年(2026)2月19日

令和7年度(2025)

第5回出雲市議会(定例会)

施政方針質問通告一覧表

令和7年度(2025)第5回出雲市議会（定例会）
施政方針質問通告一覧表 目次

2月19日（木） 10:00開会			
順番	会派名	議員氏名	ページ
1	真誠クラブ	今岡真治	3～5
2	平成クラブ	長廻利行	6～9
3	政雲クラブ	鐘推義憲	10～13
4	公明党	石橋広信	14、15
5	日本共産党	吉井安見	16、17
6	市民クラブ	大谷良治	18、19

質問者	16 真誠クラブ 今岡 真治
質問事項・質問内容	
(1) 「所信」について	
① 出雲市総合振興計画「出雲新話2030」後期基本計画について	
<p>ア 「地域の魅力を高め、持続可能な出雲市を築く」ために、市長が「最も結実させたい種（施策）」は何であるか、また、重点施策の予算配分の考え方を伺います。</p>	
②若い世代への「揺るぎない使命」について	
<p>ア 所信の結びで、「若い世代が希望をもってこの地で生きることを選択できる環境を整える」ことを「揺るぎない使命」と断言されました。就労、結婚、子育ての各ステージにおいて、若者が「出雲だからこそ自分の人生を預けられる」と確信できるだけの、他自治体にはない出雲市独自の決定的な魅力は何か。どういった環境を整えていくのか伺います。</p>	
(2) 「市政運営のポイント」について	
① 「2030年17万人台キープ『選ばれるまち出雲』への挑戦」について	
<p>ア 出雲斐川インター企業団地の早期分譲や湖陵地域での新工業団地整備により、将来にわたる雇用の場を確保するとありますが、単なる場所の提供に留まらず、高付加価値な産業や若者が望む職種を戦略的に誘致するための具体的なビジョンはあるのか伺います。</p>	
<p>イ 県外進学者の地元就職支援窓口の利用促進や、いつも学生登録者の拡大を図るとともに、高校ネットワークコーディネーターによる高校生と地元企業等との関係づくりや、いつも産業未来博などを通じて、子どもたちに地域産業や市内企業の魅力を伝え、若者の定住を促進するとありますが、これまでの取り組みによる『県外進学者の地元就職率』の推移をどう分析し、今年度の施策でどれだけの向上を目指すのか伺います。</p>	
<p>ウ 関係人口の創出・拡大について、首都圏の若者を対象とした体験プログラムを実施、二地域居住やふるさと住民登録制度の活用について検討するとされていますが、最終的な『移住』へ繋げるための具体的な目標数をどう設定しているのか伺います。</p>	
<p>エ いつも縁結びPAYを活用した「出生おめでとうポイント」、中学生までの子どもも医療費無料化や小学校給食の無償化など、大胆な公費負担による支援策を打ち出されています。これらの施策の年間事業費と財源を伺います。また、これらの施策が単なる負担軽減に留まらず、本市の合計特殊出生率の向上や転入増にどのように寄与すると分析しているのか、期待する成果を伺います。</p>	

② 「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」について

- ア 省エネ家電への買い替え支援や「いざも縁結び電力株式会社」と連携した太陽光発電のPPAモデル事業の推進などを掲げられていますが、2050年カーボンニュートラル実現への道のりはまだ遠いと思います。市民や事業者の負担を考慮しつつ、地域一体となった取り組みを加速させるための「出雲モデル」とも呼べる独自の戦略が必要だと考えますが所見を伺います。
- イ 佐田地域、湖陵地域・神西地区に続き、多伎地域でも定額乗合交通の実証運行を開始されますが、先行地域利用状況から見えた課題は何か。また、他地域への展開および持続可能な運行モデルの構築について考えを伺います。
- ウ 自治会の加入促進と脱退防止に向けて、新たに自治会に加入した世帯等への行政ポイント付与といった施策など、様々な取り組みを進める考えを示されました。また、ポイント付与期間終了後の継続的な加入維持や、自治会負担の根本的な軽減に向けた抜本的な策を伺います。
- ③ 「災害に強い強靭な基盤整備と防災体制の確立」について
- ア 「島根半島震災対策事業」を今後10か年にわたり着実に進めるとあります。が、初年度となる令和8年度に最優先で着手すべき箇所はどこか、その選定基準とともに伺います。
- ④ 「不断の行財政改革による効率的で持続可能な行政運営の実現」について
- ア 費用対効果の低い事業の廃止や再構築を進める「選択と集中」を強調されていますが、具体的にどの程度の予算規模の事業を見直し対象としているのか。また、DXによる業務効率化が、具体的に職員の労働時間削減やコスト抑制にどう寄与しているのか伺います。

(3) 主要施策・主要事業「ともに創る」について

① 「海・山・大地の恵みを生かす」について

- ア 地域計画（目標地図）で把握した課題の解決に向け「協議の場」を開催するとありますが、単なる話し合いに終わらせらず、実際の農地の大区画化や水利施設の整備といった生産基盤強化にどう直結させるのか伺います。また、農地の受け手に対する市独自の支援策の考えはないか伺います。

② 「人財力（じんざいりょく）で地域産業を“前へ”」について

- ア 「Tech Hub Izumo」構想や「いざもデジタルスタジオ」の活用により、高度IT人材の確保とデジタル人材の育成を図るとされていますが、これまでに何人が市内企業に就職、あるいは市内で起業したのか伺います。また、育成した人材が市外へ流出せず、市内企業に定着するためのマッチング戦略をどう考えているのか伺います。

- イ 出雲市には多くの外国人住民が暮らしており、深刻な人手不足に悩む企業にとって貴重な戦力となっています。一方で、就職後のミスマッチなどの課題も指摘されています。外国人住民の就職支援について、これまでの成果とそれを踏まえた対策について伺います。

(4) 主要施策・主要事業「ともに守る」について

① 「誰もが『安全・安心』に暮らせるまちに」について

ア 福祉専門職の協力を得て個別避難計画の作成を進めるとされていますが、計画の策定率を高めることは重要ですが、さらに重要なのは災害時にその計画が機能するかです。計画の実効性を高めるための訓練や、福祉専門職との情報共有体制を、具体的にどう構築していくのか伺います。また、作成を加速させるための人員体制についても伺います。

(5) 主要施策・主要事業「ともに結ぶ」について

① 「期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲」について

ア 宿泊税を軸に新たな観光財源の検討を進めるとされていますが、導入によって期待される収支規模およびその使途と導入による効果を伺います。また、観光地の滞在時間改善や滞在環境の質の向上のため還元していくのか、受益と負担の考え方についても伺います。

(6) 主要施策・主要事業「ともに支える」について

① 「『産みたい』『育てたい』を応援」について

ア 入会希望者が増加している児童クラブに対し、法人参入の促進等により受入枠の拡大を図るとされていますが、待機児童をゼロにするための具体的な計画を伺います。

(7) 主要施策・主要事業「ともに育む」について

① 「家庭・地域・学校で育む出雲の教育を」について

ア 新たに設置される「デジタル教育支援センター」の具体的な取り組みや概要について伺います。

イ 不登校対策で、デジタルでの支援が進む一方、学校以外の「物理的な居場所」を求める声も多いと思います。民間フリースクール等がその役割を担っていますが、様々な学びの場確保といった観点において、利用料助成や運営費補助を行う考えはないか伺います。

ウ 文部科学省の通知では「登校という結果のみを目標としない」と明記されています。学校外での学びや活動を、本市の教育課程の中でどう正当に評価し、子ども達の自信につなげていくのか所見を伺います。

(8) 主要施策・主要事業「ともに楽しむ」について

① 「芸術文化で豊かな出雲を」について

ア 「（仮称）出雲市文化協会」を創設するとありますが、具体的な取り組みと組織体制について伺います。

質問事項・質問内容

(1) 市政運営のポイントについて

- ① 「2030年17万人台キープ『選ばれるまち出雲』への挑戦」について
- ア 民間投資を呼び込むためには、出雲のどのような強みを生かし、どのように重点を置いて取り組まれるのか伺います。
- イ 「二地域居住」や「ふるさと住民登録制度」の内容と期待される効果について伺います。
- ウ 子ども医療費を中学生まで無料化するにあたり、その財政負担やコンビニ受診による医療機関の負担増といった課題をどのように考えているのか伺います。
- エ 佐田地域で設置準備される義務教育学校について、その制度内容と導入メリット、他地域での導入の可能性を伺います。
- ② 「物価高騰の波を乗り越えるための市民生活・企業活動支援」について
- ア 「第3弾プレミアム付きデジタル商品券」の概要について伺います。また、「70歳以上の市民や住民税非課税世帯を対象とする給付金」の内容や給付時期、方法についても伺います。
- イ 市内企業が行うデジタル化や、エネルギーコスト削減の取組にかかる支援策の内容について伺います。
- ③ 「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」について
- ア 「再生可能エネルギー等の導入や、新たに省エネ効果の高い家庭用エアコンや冷蔵庫への買替えを支援する」とは、具体的にはどのような支援策なのか伺います。また、「農地を活用したソーラーシェアリング」とは、どのようなものか伺います。
- イ 「コンパクト・プラス・ネットワーク」とはどのようなもので、立地適正化計画では、どのような内容を策定するのか伺います。
- ウ 「自治会の加入促進に向けて、未加入世帯への戸別訪問に取り組む」とされていますが、いつ、誰が、どのように実施するのか、伺います。
- ④ 「災害に強い強靭な基盤整備と防災体制の確立」について
- ア 「島根半島震災対策事業」について、具体的な内容や事業規模を伺います。また、「物品や食糧の備蓄を強化」されますが、避難者数や避難日数をどれくらい想定した備蓄目標を設定しているのか伺います。
- ⑤ 「不断の行財政改革による効率的で持続可能な行政運営の実現」について
- ア 行財政改革 前期実施計画の見直しは、どのような手順で進められ、市民意見等がどのように反映されていくのかを伺います。
- イ ネーミングライツに取組むことを検討される市有施設とは、現段階でどの施設を想定されているのか伺います。

(2) 主要施策・主要事業「ともに創る」について

① 「海・山・大地の恵みを生かす」について

ア アグリビジネススクール等による新規就農者や認定農業者などの後継者といった近年の農業の担い手確保の実績と来年度の目標について伺います。

イ 林業や水産業の現状の就業者数と、近年の新規就業者実績、来年度の新規就業者目標数など、担い手確保に向けた取り組みを伺います。

② 「地場企業が地域を支える」について

ア 「NPO法人ミライビジネスいすもや商工団体と連携し、市内企業の新事業展開支援、人材育成などに取り組む」とされていますが、これまでの実績と来年度の目標数値について伺います。

③ 「人財力（じんざいりょく）で地域産業を“前へ”」について

ア 工科系大学等の高等教育機関の誘致については、これまで大きな成果がない中で、今後どのような誘致活動によって誘致を実現していく考えか伺います。

(3) 主要施策・主要事業「ともに守る」について

① 誰もが「安全・安心」に暮らせるまちについて

ア 個別避難計画について、現状の作成率と来年度の作成率の目標値について伺います。

イ 空き家対策として「必要な支援体制づくりを検討する」とされているが、どのような支援策や体制を想定されているのか伺います。

② 「未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ」について

ア 「森林資源を活用した森林J-クレジット」の内容と実施効果について伺います。

イ 「出雲環境センターの今後のあり方について検討を進める」とされていますが、どのような課題があり、どのような内容を検討されるのか伺います。

(4) 主要施策・主要事業「ともに結ぶ」について

① 期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲について

ア 出雲観光協会がDMOとなった効果やメリット、そして市の観光部局との役割分担について伺います。

イ インバウンドはフランスと台湾からの誘客に力を入れられる理由について伺います。また、この2か国からの入込客数が分かれば併せて伺います。

② 「ヒト、モノ、コトを短時間でつなぐ」について

ア 出雲縁結び空港の機能強化策について、今後の見通しなどを伺います。

③ 「あのまち・このまち 出雲を結ぶ」について

ア 中海・宍道湖・大山圏域市長会において取り組まれている台湾、インドとの経済交流の実績と、その効果について伺います。

イ 島根半島・宍道湖中海ジオパークの認知度向上をどのように行い、滞在型観光の促進にどのように活かしていくのか伺います。

④ 「いにしえの『財（たから）』を守り、活かす」について

ア 平田地域の木綿街道の選定に取り組む重要伝統的建造物群保存地区の指定要件や規制内容、そして指定するメリットを伺います。

(5) 主要施策・主要事業「ともに支える」について

① 「『産みたい』『育てたい』を応援」について

ア 児童クラブの職員の今回の処遇改善の内容と、来年度、どれくらい受入枠を拡大するのか伺います。

イ 「子ども・若者が安心して過ごせる第3の居場所」の対象者や場所の概要、安心して過ごせる理由について伺います。

② 「ワーク・ライフ・バランスで自分らしい生き方を」について

ア 現在のイクボス宣言登録企業数と、拡大に向けた取り組み内容について伺います。

③ 「いつまでも元気、ずっと現役で」について

ア 「特に新年度は、高血圧や脳卒中の予防に重点を置き、市民の食生活の改善等を図る」とされていますが、具体的な対象者や取り組み内容について伺います。

④ 「誰もが大切にされる社会をめざして」について

ア 多文化共生の取り組みとして、生活文化等の違いによる地域住民間でのトラブルは発生していないのか。また、そういう相談等があった場合は、どのように対応されているのか伺います。

⑤ 「ぬくもりのある福祉サービスを」について

ア 出雲市障がい者基幹相談支援センター『あんど』の利用実績と、相談支援体制の見直しを行う理由について伺います。

⑥ 「地域特性を生かして安心な医療を」について

ア 他市においては市立病院の経営形態を地方独立行政法人に移行するとの報道があったが、病院事業を地方独立行政法人に移行するメリット・デメリットや、本市の総合医療センターが地方独立行政法人に移行する可能性の有無について伺います。

⑦ 「地域とともに持続可能な中山間地域を」について

ア 各地域に配置している地域支援員の成果や、配置地域の受け止めについて伺います。

イ 「まちづくりビジョン」を策定された地域では、どのような取り組みが行われて、成果があがっているのか伺います。

⑧ 「出雲のインフラを整え『安心』を支える」について

ア 「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の内容について伺います。

イ 公共下水道の新規拡張整備を完了し、合併処理浄化槽を普及促進することに至った経緯と、今後の合併浄化槽の普及促進策について伺います。

ウ 益田一出雲市間の沿線自治体による新たな利用促進協議会について、その設立経緯や目的、期待される効果について伺います。

⑨ 「デジタルの力で未来をデザイン」について

- ア 「書かない窓口」が本庁で始まったが、行政センターではいつ頃から始めるのか伺います。
- イ 結婚や出産などの手続きがワンストップで完結できるようになるのは、いつ頃を目指して準備を進めていくのか伺います。

(6) 主要施策・主要事業「ともに育む」について

① 「家庭・地域・学校で育む出雲の教育を」について

- ア 幼稚園の「子どもたちにとって、より好ましい教育環境」とは、どのようなものか伺います。
- イ デジタル教育支援センターと既存の教育支援センターとの違いや、期待される効果について伺います。
- ウ 学習用タブレットの更新にかかる事業規模や財源、何年計画で、学年別、学校別といった更新方法について伺います。
- エ 小学校2校の屋内運動場にエアコンが整備されるが、今後の学校の屋内運動場にかかるエアコン整備計画について伺います。
- ② 「人が地域を、地域が人を育てる」について
- ア 「特に、中山間地域の課題解決に資する活動を後押しする」とされているが、具体的にはどのような支援策に取り組まれるのか伺います。

(7) 主要施策・主要事業「ともに楽しむ」について

① 「芸術文化で豊かな出雲を」について

- ア (仮称) 出雲市文化協会を創設する経緯や、期待される効果について伺います。

② 「スポーツで元気な出雲を」について

- ア ディオッサ出雲FCを支援してきた成果（出雲の魅力発信、地域の一体感の醸成）について伺います。

- イ 一般市民のみなさんが取り組まれている地域の生涯スポーツの振興策についての考えを伺います。

③ 「誰もの『学びたい』を実現」について

- ア 出雲市電子図書館は、既存の図書館と何が異なり、どのような効果が期待できるのか伺います。

④ 「出雲の魅力、発信します」について

- ア これまで市長が市民等と意見交換を行うミーティングを通して、何を感じられ、どのようなことを市政に反映してきたのか、あるいは具体的に取り組んできたのか伺います。

(8) 令和8年度当初予算について

① 持続可能な財政運営について

- ア 令和8年度当初予算にかかる一般財源の前年度比や財政調整基金の繰入額、その後の財政見込み等について伺います。

質問事項・質問内容

(1) 市政運営のポイント

- ① 「2030年17万人台キープ『選ばれるまち出雲』への挑戦」について伺う。
- ア デジタル地域通貨「いつも縁結びPAY」について
- a これまでの実績および運用効果をどのように評価されているのか伺います。
 - b 政府は、重点支援地方交付金によるお米券の配布を推奨していますが、本市では、お米券の配布ではなく、デジタル地域通貨「いつも縁結びPAY」を活用して実施する計画であるのか伺います。
- イ 高校ネットワークコーディネーターによる高校生と地元企業等との関係づくりについて
- a 導入後の実績と効果をどのように評価されているのか、また、今後の取組方針について伺います。
- ウ シティプロモーション戦略について
- a 現在までの策定状況および概要について伺います。また、具体的な発信方法等について伺います。
 - b 併せて、「シビックプライド」の醸成に向けた取り組み状況について伺います。
- ※シビックプライドは、株式会社読売広告社の登録商標です。
- エ 「出生おめでとうポイント」を活用した子育て支援施策について
- a この施策は、本市の子育て支援施策を効果的に周知するうえでも重要な機会です。当該ポイント交付時に、既存の子育て支援施策をどのように周知し、利用につなげていく考えであるのか伺います。
- オ 「こども誰でも通園」の導入について
- a 市内の認定こども園や認可保育所では、一時保育や一時預かりが実施されている状況の中で、この制度を導入する経過と趣旨、および運用方法について伺います。
 - b 本市における本制度の需要（利用者数等）および実施予定の保育施設の見込みについて見解を伺います。
- カ 小規模校への特認校制度導入について
- a 導入の目的および想定される効果について伺います。
 - b 本制度の導入対象校として、どの小学校または中学校を想定されているのか伺います。

② 「物価高騰の波を乗り越えるための市民生活・企業活動支援」について伺う。

ア 小学校の学校給食費の無償化について

a 令和8年4月から、国と県の支援のもと、市独自の公費負担も行いながら、公立小学校の給食費の無償化が予定されていますが、今後、段階的にでも本市単独での給食費無償化を行う考えがあるのか伺います。

イ 中学校・幼稚園・保育所等の給食費の保護者負担軽減について

a 中学校・幼稚園・保育所等の給食費について、将来的に無償化する予定があるのか伺います。

③ 「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」について伺う。

ア 脱炭素に係る設備導入支援について

a 省エネ効果の高い家庭用エアコンや冷蔵庫への買替え支援について、令和8年度の単発事業なのか、次年度以降も実施する予定であるのか伺います。

イ ケアマネジャーの確保・定着の具体策について

a ケアマネジャーの確保・定着にあたり、いわゆる「シャドーワーク」を含めた業務負担の軽減を行うことが重要です。そこで、AIを活用した業務効率化および身寄りのない高齢者への対応に向けた具体策、加えて「シャドーワーク」の実態調査と、その削減に向けた対策について伺います。

ウ 自治会等の業務負担軽減について

a 自治会等の業務の負担軽減策として、現在依頼している業務を削減していく考えであるのか、その場合、どのような業務を削減する予定であるのか伺います。

④ 「災害に強い強靭な基盤整備と防災体制の確立」について伺う。

ア 妊婦と乳幼児がいる世帯の災害時の避難について

a 災害弱者である妊婦や乳幼児がいる世帯は、災害時の避難において、どのように位置づけられているのか伺います。

b 妊婦や乳幼児がいる世帯が安心して過ごすための指定避難所内でのゾーニングや、専用の避難所といった新たな避難の枠組みを検討する考えがあるのか伺います。

⑤ 「不断の行財政改革による効率的で持続可能な行政運営の実現」について伺う。

ア 事業の選択と集中の取り組みについて

a 新規事業の立ち上げに際しては、既存事業の見直しを検討するなど、これまでも選択と集中を進めていくことを言及されていますが、これまでの取り組みの現状および今後の具体的な取組方針について伺います。

(2) 主要施策・主要事業「ともに創る」

① 「海・山・大地の恵みを生かす」について伺う。

ア スマート農業の普及について

a これまでの本市におけるスマート農業の普及・定着の実績と、その効果をどのように認識されているのか、それを踏まえて、今後どのように取り組む方針であるのか伺います。

(3) 主要施策・主要事業「ともに支える」

- ① 「地域とともに持続可能な中山間地域を」について伺う。
 - ア 保育所における性被害防止のための備品購入経費支援について
 - a 保育所において性被害防止のための備品を購入することになった経過と、どのような備品を購入することになるのか伺います。
 - イ 中山間地域における「まちづくりビジョン」の策定について
 - a 策定状況および策定における支援状況について伺います。
 - b 策定後のフォローアップの状況および策定効果をどのように評価されているのか伺います。
- ② 「出雲のインフラを整え『安心』を支える」について伺う。
 - ア 「地域インフラ群再生戦略マネジメント」の導入について
 - a どのような方式で導入する予定なのか、その概要およびスケジュールについて伺います。
 - イ JRにかかる「利用促進協議会」設立について
 - a 設立に至った経過および設立趣旨、組織体制および活動計画等について伺います。
- ③ 「デジタルの力で未来をデザイン」について伺う。
 - ア 地域課題の解決と行政施策の推進に向けたAIの活用について
 - a 本市におけるAIの活用具体策について伺います。

(4) 主要施策・主要事業「ともに育む」

- ① 「家庭・地域・学校で育む出雲の教育を」について伺う。
 - ア 中学校部活動の地域展開について
 - a 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として検討が進められていますが、現状および今後の方針について伺います。
 - イ 小学校の屋内運動場へのエアコン整備について
 - a 熱中症対策として、市内全校へのエアコン整備は喫緊の課題であると考えますが、今後の整備方針について伺います。
 - b エアコン整備には多額の経費が必要と考えますが、その財源について伺います。

(5) 主要施策・主要事業「ともに楽しむ」

- ① 「芸術文化で豊かな出雲を」について伺う。
 - ア 「(仮称)出雲市文化協会」について
 - a 「(仮称)出雲市文化協会」と「出雲市芸術文化振興財団」との役割の重複を避け、それぞれの団体が担う役割や機能をどのように整理し、市民や文化団体が活動しやすい体制をどのように構築していく方針なのか伺います。

(6) 組織・機構の改革

- ① 「道路河川管理課」と「道路河川維持課」の役割分担について伺う。
 - ア 「道路河川管理課」および「道路河川維持課」、それぞれの詳細な役割分担について伺います。
- ② 「市街地水害対策室」の建設企画課内室への移管について伺う。
 - ア これまで道路河川維持課の内室であった「市街地水害対策室」を、建設企画課の内室にされる理由と期待される効果について伺います。

質問者	13 公明党 石橋 広信
質問事項・質問内容	
(1) 「市政運営のポイント」について	
①	「2030年17万人台人口キープ『選ばれるまち出雲』への挑戦」について
ア	中小・小規模企業の事業発展への支援や創業支援、企業誘致などに注力し地域経済の持続的な成長を支え、多様な産業の育成を図るとあるが、そのためには各企業の要望、問題点、支援の内容等を把握する必要があると思うが、それらの情報をどのように把握するのか伺う。
イ	デジタル地域通貨「いづも縁結びPAY」を活用した更なる地域経済の活性化に関して、今までの取組みの状況と今後の新たな取組み内容を伺う。
②	「物価高騰の波を乗り越えるための市民生活・企業活動支援」について
ア	市民生活への支援として、第3弾となるプレミアム付きデジタル商品券事業、70歳以上の方へ給付金、住民税非課税世帯への給付金とあるが、それぞれどのような取組みをするのか伺う。
③	「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」について
ア	自治会の加入促進と脱会防止に向けて、未加入世帯への戸別訪問はどのような語り口で行うのか、また自治会を設立した世帯や、新たに自治会に加入了した世帯に対して行政ポイントを付与するとあるが、加入済世帯との不平等感をどのように思うのか、むしろ、その世帯にポイント付与が必要と考えるが所見を伺う。
④	「災害に強い強靭な基盤整備と防災体制の確立」について
ア	避難所の環境改善に関する「女性目線」での対策の必要性を伺う。
⑤	「不断の行財政改革による効率的で持続可能な行政運営の実現」について
ア	ふるさと納税制度の活用、市有財産の処分や利活用、市有施設へのネーミングライツ等の取組みにて財源確保に努めるとのことだが、それぞれの現在の収入状況と新たな財源確保のための取組みがあるのか、また財源確保のための提案として出雲市系ファンドのような取組みはいかがなものか伺う。

(2) 「主要施策・主要事業」について

① 「ともに創る」について

ア DX先進エリアを目指す「Tech Hub Izumo」構想実現に向け「Izumonomad」を拠点にIT人材確保、デジタル技術の習得、デジタル人材育成等に取組んでいるが、IT化による未来の出雲の姿を伺う。またデジタル人材の育成を図るあるがどのような人材か伺う。

② 「ともに守る」について

ア リチウムイオン電池等の安全で利便性の高い分別収集体制に関して、政府が昨年12月に同電池の「対策パッケージ」を公表し、AIなどで自動的に選別する設備の導入や、4月からはモバイルバッテリーと携帯電話、加熱式たばこ機器を「指定再資源化製品」として自主回収とリサイクルを義務付けることになるようだが、出雲市ではどのようになるのか伺う。

イ 建築物の耐震化について「出雲市建築物耐震改修促進計画」の見直しが行われるが市民生活にどのような影響があるか伺う。

③ 「ともに結ぶ」について

ア 観光のまち出雲としてDMOとなった出雲観光協会等とともに観光資源の磨き上げや効果的な魅力発信を進めることである。先日会派視察にて受けた観光に関する研修の中で、観光消費額の単価に注目され、京都の例では日本人観光客日帰り8,364円に対して宿泊44,707円と5倍の差があり、宿泊客獲得が観光産業の発展につながることだったが所見を伺う。

イ 本年1月に再認定を受けた島根半島・宍道湖中海ジオパークの周知について推進されているか、また認知度が低いのは何故か伺う。

④ 「ともに支える」について

ア 子ども・若者が安心して過ごせる「第3の居場所」については大事な場所であり、今後利用度も高くなると思うが、現在の居場所情報とその周知方法を伺う。

イ 旧出雲体育馆跡地の利活用に関しては、立地環境を生かした機能や施設規模、整備手段、財源などを検討されているようだが、現在の取組み状況と利活用に関して市民の声がどれくらい届いているのか現状を伺う。

⑤ 「ともに育む」について

ア 不登校対策における不登校相談員の配置、ICTを活用した学習支援や相談の充実、校内教育支援センター「ほっとルーム」での支援、デジタル教育支援センターの設置等の取組みの実績を伺う。

⑥ 「ともに楽しむ」について

ア 現在の図書館の施設内容に対する利用者の声について伺う。また電子書籍に関してその内容と現状、利活用対策を伺う。

(3) 「組織・機構の改革」について

① 「道路河川管理課」と「道路河川維持課」について

ア 「道路河川管理課」が行うAIパトロールに関してはかなりの効率化が望めそうだが、その分作業が増えると思うがその対応は大丈夫か。また「道路河川維持課」が行う施設の長寿命化や修繕に関する確認については「目視」だけで実施するのか。また、AIを活用するのか伺う。

質問事項・質問内容

(1) 所信について

① 「本市を取り巻く環境」の認識を伺う。

ア 所信で「本市を取り巻く環境は、依然として厳しい状況」にあるとされた。
人口や富の偏在が解消されなければ地方での生活を支えることはできないと
考えるが、認識はいかがか。

(2) 市政運営のポイントについて

① 「2030年17万人台キープ『選ばれるまち出雲』への挑戦」について伺う。

ア 市内の事業者からは「近年の最低賃金の引き上げなど賃上げが大きな負担と
なっている」「取引先との交渉で十分な価格転嫁がすすまない」との声があ
る。市内事業者が経営を継続できるよう賃上げに対する直接支援について、
所見を伺う。

イ 子ども医療費について、無料化の対象を大きく拡充されたが、その決断の背
景を伺う。また、対象を18歳（高校生年代）まで拡充することについての
考えを伺う。

② 「物価高騰の波を乗り越えるための市民生活・企業活動支援」について伺う。

ア プレミアム付き商品券事業を再度実施するとされているが、多くの市民が利
用しやすい事業となるよう紙の商品券や磁気カードなどの併用についてどの
ように検討されたのか伺う。

イ 小学校の給食費無償化について伺う。

a 「無償化」という言葉が制約になり、給食の質・量の低下、地産地
消、地場産品の利用の後退となつてはならないと考えるが、所見を伺
う。

b 不登校などにより学校給食を利用しない児童・生徒に対して、給食費
相当分の支援についてどうするのか伺う。

c 適正な価格形成は公共調達の場でこそ重要である。学校給食の食材購
入の仕入れ価格に、どのように反映されているのか伺う。

d 給食費無償化が地方自治体の負担となつないよう、国が責任を持って
継続するよう働きかけるべきと考えるが、市の考えを伺う。

(3) 主要施策・主要事業 「ともに守る」

① 「誰もが『安全・安心』に暮らせるまちに」について伺う。

ア 島根原発2号機でのプルサーマル発電の実施については、県内の周辺3市（出雲、安来、雲南）では住民に対しての説明、意見を聴く場は持たれていない。住民の理解と合意なしに「プルサーマル発電」の議論が進められることはあってはならないと考えるが、所見を伺う。

イ 「放射性廃棄物の最終処分場」の説明会が各地で開催されている。処分場の誘致は、住民の安全・安心とは両立しえないと考えるが、所見を伺う。

(4) 主要施策・主要事業 「ともに支える」

① 「『産みたい』『育てたい』を応援」について伺う。

ア 放課後児童クラブについて伺う。

- a 待機児童の解消に向けた、クラブの新設、静養や執務スペースの確保を含めたゆとりある施設整備の必要性について、所見を伺う。
- b 職員確保への支援体制づくりや抜本的な処遇改善の必要性について、所見を伺う。
- c 医療的ケアが必要な児童・生徒の利用が保障されるよう、対応する専門職の確保・配置について、積極的な取り組みが必要と考えるが、所見を伺う。

質問者	20 市民クラブ 大谷 良治
質問事項・質問内容	
(1) 「市政運営のポイント」	
<p>① 「2030年17万人台キープ『選ばれるまち出雲』への挑戦」について</p> <p>ア 高校ネットワークコーディネーター制度について、これまでの事業の成果及び今後の取組みについて伺います。</p> <p>イ 移住者に対する家賃助成・住宅取得に関する支援についての効果をどう評価されているのか、今後、拡充等について検討されるのか伺います。</p> <p>ウ 「ふるさと住民登録制度」の活用について、制度内容と期待される効果と展望について伺います。</p> <p>② 「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり」について</p> <p>ア 「脱炭素のまち出雲」の実現について、脱炭素に係る設備導入支援として、再生可能エネルギー等の導入や、省エネ効果の高い家庭用エアコンや冷蔵庫への買替えに対して支援するとのことですが、その支援内容について伺います。</p> <p>イ 自治会加入促進の新たな取組みである自治会を設立した世帯や新たに自治会に加入した世帯へ行政ポイント付与の概要と今後の進め方について伺います。</p> <p>③ 「災害に強い強靭な基盤整備と防災体制の確立」について</p> <p>ア 避難所の環境改善について、食料備蓄について、乳幼児や高齢者にも配慮しながら新年度中に備蓄目標を達成するとされていますが、その目標について伺います。</p>	
(2) 主要施策・主要事業 「ともに創る」	
<p>① 「海・山・大地の恵みを生かす」について</p> <p>ア 出雲農業未来の懸け橋事業について</p> <p>　a 今般の物価上昇の中で、総予算の拡充についての考えがないのか伺います。</p> <p>イ 水産業の担い手確保・育成に努め、安定した漁業経営を支援するとあるが、その具体的な内容と、現在、漁業を営んでいる方に対する支援について伺います。</p> <p>② 「人財力で地域産業」を“前へ”</p> <p>ア 工科系大学等の高等教育機関の誘致について</p> <p>　a これまでの取組み状況とそれを踏まえた今後の取組みについて伺います。</p>	

(3) 主要施策・主要事業 「ともに結ぶ」

- ① 「期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲」について
 - ア （仮称）大社新駐車場の整備計画及び滞在環境の改善に資する不足するトイレ等の整備スケジュールについて伺います。
 - イ 神門通り観光案内所の整備方針の検討について、これまでの状況に関する認識と今後の検討の方向性について伺います。
- ② 「いにしえの『財（たから）』を守り、活かす」について
 - ア 木綿街道の「重要伝統的建造物群保存地区」の選定に向けた本市の役割と今後の展望や課題について伺います。

(4) 主要施策・主要事業 「ともに支える」

- ① 「『産みたい』『育てたい』を応援」について
 - ア 子ども・若者が安心して過ごせる「第3の居場所」について、どこが主体となって情報の一元化に取り組むのか伺います。
- ② 「ぬくもりのある福祉サービスを」について
 - ア 出雲市障がい者基幹相談センター「あんど」の支援体制の強化と相談支援体制の見直しの内容について伺います。
- ③ 「地域特性を生かして安心な医療を」について
 - ア 総合医療センターの取組みについて
 - a 令和8年度の主な取組みについて伺います。

(5) 主要施策・主要事業 「ともに楽しむ」

- ① 「出雲の魅力、発信します」について
 - ア 市長就任以来、広聴事業の一環として多くの企業や団体の方々と対話をされてきました。その「訪問ミーティング」「まちづくりミーティング」の中での実情や市民の意見に対し、具体的にどのような政策を検討されてきたのか伺います。